

# 2016 年度

## アメリカ派遣留学報告書

留学先：ノースウェストミズーリ州立大学

実習期間：8月24日（水）～12月16日（金）

新潟国際情報大学

国際文化学科

学籍番号：21015070

高井 皓友

## 目次

1	留学先及び実習期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	4
	4 - 1 留学のスケジュール	4
	4 - 2 留学の詳細	5
5	所感	6
6	おわりに	7
	謝辞	7

## 付録

	留学日誌	8
--	------	---

## 1 研修先及び実習期間

研修先：ノースウェストミズーリ州立大学

研修期間：平成 28 年 8 月 24 日（水）～平成 28 年 12 月 16 日（金）

※帰国は 12 月 17 日（土）

## 2 留学先概要

### (1)大学について

ノースウェストミズーリ州立大学は、メリーヴィルという都市に位置する。メリーヴィルの人口は約 12,000 人で、農業を中心に栄える都市である。この大学では約 2% の留学生を含めおよそ 5,500 人の学生が学ぶ大学であり、キャンパスの規模はアメリカの他大学と比べて比較的小さい。しかし文系から理系まで多くの学部を構えており、あらゆる分野の研究を行うことができる。スポーツが盛んな大学で、特にアメリカンフットボール部はキャンパス内に専用スタジアムを持っており、試合が行われる日は多くの観客で賑わう。キャンパス内では毎日のように様々なイベントが開催され、学生同士の交流が盛んに行われている。学生寮が多くあるため、全学生の内およそ 4 割は寮生である。

### (2)大学で行われている教育について

ノースウェストミズーリ州立大学では、英語を流暢に話せない学生の為に、「English as a Second Language program」（通称 ESL プログラム）があり、前期には約 40 名、後期にはその半分以下の学生がそのプログラムで学んでいる。また全学部、1 学期につき中間試験と学期末試験の 2 つの大きな試験が実施されるのに加え、授業ごとに多くの小テストが実施される。この制度は学生の学ぶ意識を高める。しかし多くの学生は 1 日中勉強だけをするわけではなく、授業の合間や授業後の時間をアルバイトや趣味の時間としている。そのことは学生自身の時間の使い方を管理する力を高める。ノースウェストミズーリ州立大学で行われている教育は、学生の事を第一に考え勉学はもちろん人間性も向上させる。

## 3 留学目的

今回の留学の目的は以下 3 つである。1 つは英語圏において英語を学び、現地での英語の話され方を学習することでより自然な英語を身に着けるため。もう 1 つは TOEIC の点数向上のため。そして海外で生活することで日本との違いを理解し、考え方に多様性を生むことである。まず日本ではなくアメリカで英語を学ぶことの最大のメリットは、普段から英語が使われている環境に身を置くことで最も効率よく、また自然に英語を身に着けることができるということだ。会話の中で不自然な英語を用いればネイティブスピーカーがそれを訂正してくれ、また教科書には載っていないようなスラング等の言い回しを学ぶことができる。それにより実際に英語を用いる際には日本で習うより自然な会話ができ、大きなアドバンテージを生む。それに加え ESL プログラムで学ぶことで、英語を用いる際の基礎となる単語や文法などを学ぶことができる。アメリカ派遣留学に参加することの最大の利点は、授

業で習った事をすぐに会話として生かし身に着けることができるということだ。また ESL プログラムで学ぶことは TOEIC の点数向上にも繋がる。多くの企業はその社員に対して TOEIC スコア 600 点以上を要求する。よって TOEIC の点数を上げることで就職活動を優位に行うことができる。そのため単に英語圏に身を置くだけでなく授業に出席することで、英語の基礎を身に着け TOEIC のスコアを向上させることも大きな目的の 1 つである。さらにアメリカ派遣留学制度には約 1 週間のホームステイ期間が設けられている。その期間中にアメリカの家庭における生活を体験することができる。もちろん日本での生活とは異なり、人柄やその価値観も日本とは異なる。日本においては当然とされる考え方に疑問を持つことや、幅広い価値観を持てるようになることもこの留学の目的である。

#### 4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

##### 4 - 1 留学のスケジュール

授業のスケジュールは以下のとおりである。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9:00~9:50	Reading & Writing	Reading & Writing	Reading & Writing	Reading & Writing	Fridays schedule
10:00~10:50	Reading & Writing	Reading & Writing	Reading & Writing	Reading & Writing	
11:00~11:50	Grammar	Grammar	Grammar	Grammar	
12:00~1:00	Lunch	Lunch	Lunch	Lunch	
1:00~1:50	Listening & Speaking	Listening & Speaking	Listening & Speaking	Listening & Speaking	
2:00~2:50	NUIS project	TOEIC preparation	Culture class	TOEIC preparation	

##### 4 - 2 授業の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

###### i) Reading & Writing

教科書にある文章を読み意見を交換したり、パソコンを使って文章を書く授業。極力辞書を

使わず口頭で質問することで理解を深める。毎日宿題が課せられる。試験では文章の読解力、単語、文章の書き方が試される。

#### ii) Grammar

教科書の例文や解説を用いた文法の授業。毎日宿題が課せられる。試験では文法の理解力を選択問題や誤りを訂正する問題などで試される。

#### iii) Lunch

Student Union という建物の中にある食堂での食事。昼食だけでなく朝と夜も同じ場所で食事をする。

#### iv) Listening & Speaking

教科書の文章について意見を口頭で交わしたり、CD から流れる英語の音声を理解する授業。積極的な発言が求められる。毎週火曜日、3人の学生がその週参加したイベントについてスピーチを行う。試験ではスピーチ、教科書で扱った文章に関する問題、単語、リスニングテストなどが課される。

#### v) NUIS project

NUIS の学生のみで、1 Semester かけて1本の動画を撮影する。キャンパスの紹介や個人の思い出等、決められた時間内で自由に撮影する。

#### vi) Culture class

アメリカの文化について、いくつかのグループに分かれて1時間1グループが発表し、それについての理解を深める。発表に関する問題が書かれた紙が配られるため、グループで相談し回答を記入して次週の授業時に提出する。

#### vii) TOEIC preparation

TOEIC のスコア向上を目的とした授業。NUIS の学生と1人の先生により行われる。TOEIC 練習用テキストを使い問題に慣れる。毎週単語テストが課せられる。

#### viii) Fridays schedule

9月2日、10月14日、11月18日にTOEICが行われた。また9月16日にはオマハへ、10月28日にはカンザスシティへフィールドトリップに出かけた。

## 5 当初目的・目標への達成度

今回の留学の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i)自然な英語を身に着けること

日本で英語を学習していた時には教科書通りの英語しか分からず、常に堅苦しい表現をしていた。しかし英語圏に身を置いたことでネイティブスピーカーが使うようなカジュアルな英語を覚えることができた。しかし未だにネイティブスピーカーの英語をすべて聞き取り言いたいことを伝えられるわけではない。今後も学習し続ける必要がある。

ii)TOEIC のスコアを上げること

最後に日本で受けた TOEIC のスコアよりは高かったが、満足できるようなスコアには達さなかった。これからの学習で目標とするスコアが取られるように尽力しなければならない。

iii)幅広い価値観を身に着けること

出発前から予想していた通り、やはりアメリカでは日本とは違う文化があり少しカルチャーショックを受けた。しかしその原因は今までの当たり前という考え方にあるということに気が付くことができた。それ以来、当然を疑うことができる幅広い考え方を身に着けることができた。

## 6 反省・課題

4ヶ月の留学で英語力は向上し価値観も変えることができた。しかしながらその英語も決して完璧ではなくまだ成長の余地があり、TOEIC の結果にも満足していない。目標に限界はなく今回の派遣留学も最終目標ではない。今回得た経験を踏まえて今後も英語を勉強し続けたい。

### 謝辞

今回、ノースウェストミズーリ州立大学にて懇切丁寧な指導をしてくださった Dr. Foot、Belinda さん、Barbara Terry さん、Helen Konstantopoulos さん、Nancy Hardee さん、ホストファミリーの Mindy Sticken さん、Pat さん、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学の派遣留学担当で 2016 年度前期の授業、派遣留学の現地サポート、帰国後の各種活動への指導を賜りました、藤本直生先生、矢口裕子先生には心より感謝いたします。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、本セミナー参加が実現し、有意義な体験ができたことを、心から感謝いたします。

## 付録：授業時間外での活動

第4項に述べた留学のスケジュール以外に、授業の一環として「AB (Activity Buddy) プログラム」、「CP (Conversation Partner) ミーティング」が週1度行われる。ABプログラムではESLの学生1人につきESL以外の学生が1人もしくは2人で1グループとなり、毎週キャンパス内外で行われるイベントに参加しなければならない。このプログラムは国際交流を専門とする学生の交流をより活発に行うために昨年から導入されたプログラムである。スポーツのイベントに多く参加するグループ、芸術鑑賞のイベントに多く参加するグループ、幅広い分野のイベントに参加するグループなど、参加するイベントはそのグループにより様々である。またバディの家が大学近くにある場合、サンクスギビングの週にその家にホームステイする学生も見られる。CPミーティングでは、ESLの学生2人につきESL以外の学生が1人で1グループとなり、週に1度1時間の会話を行う。会話の内容は定められておらず、家族や友達、趣味の話など自由に行われる。

その他に、1セメスターを通して4度のフィールドトリップが行われる。1回目にはオマハの動物園を訪れた後、近隣のショッピングモールへ行く。2回目には各自のFISファミリー(ホストファミリー)と一緒にキャンパスから車で40分程にある牧場へ行き、釣りなど様々な体験をする。3回目にはカンザスシティにある美術館を観覧する。4回目にはメリーヴィル高校を訪れ実際に授業を体験する。いずれもESLの学生は参加が求められる。

11月にある6日間のサンクスギビングウィークの際は、キャンパスを去らなくてはならない。そのため各自のFISファミリーもしくはABの家又はCPの家にホームステイすることになる。その最中はアメリカの家での生活を体験することができる。

帰国2日前にはESL卒業パーティーが行われる。そこでは修了証を受け取った後、FISファミリー、AB、CPパートナーと最後の交流をする。